
今後の文化芸術政策の目指すべき姿
と今後5年間の基本的な方向性について
(たたき台素案)

平成29年8月

今後の文化芸術政策の目指すべき姿 と今後5年間の基本的な方向性の関係性

たたき台素案

目指すべき姿

Creation, Deepening and Succession

文化芸術の
創造と発展、
次世代への継承

Cultural Innovation

文化芸術により
イノベーションを生む、
活力ある社会の形成

Diversity and Well-being

文化芸術をアイデン
ティティとし、多様な価
値観を受け入れる、
心豊かな社会の形成

Cultural Community

文化芸術を通じた地域
コミュニティの形成



基本的な方向性

(2018～2022年度の5年間)

戦略1 文化をつくる

文化芸術の
創造・発展・継承

戦略2 文化で稼ぐ

文化芸術による
イノベーション

戦略3 文化で世界とつな がる

文化芸術による
国際性の深化

戦略4 文化で地域をつなぐ、 社会をつくる

文化芸術による
多様な価値観の形成

戦略5 人をつくる

専門人材の確保
と教育による裾野拡大

戦略6 ネットワークをつくる

地域のプラットフォーム
と多様な財源の確保

文化芸術資源で未来をつくり、「文化芸術立国」を実現

※矢印は主
な対応関係
を表しており、
これに限るも
のではない。

今後の文化芸術政策の目指すべき姿（イメージ）

たたき台素案

文化芸術の創造と発展、次世代への継承

Creation, Deepening and Succession

- 人々が文化芸術の価値を重視する社会の実現を目指しており、多くの人が我が国の文化芸術を誇りに感じている
- 若手の新進芸術家等が次々と養成され、国外の芸術祭やコンテスト等で活躍している
- 文化財に加えて、芸術や芸能の知識・技能・物品等が次世代に確実に継承されている
- 劇場、美術館、博物館等の文化施設で優れた文化プログラムが次々と行われ、多くの人が参加している

文化芸術によりイノベーションを生む、活力ある社会の形成

Cultural Innovation

- 芸術、音楽、キャラクターなどのコンテンツが次々と生み出されている
- ネットを活用して様々なコンテンツが発信される
- 全国各地で今までにない魅力的な若者文化が萌芽し、日本のイメージが向上するとともに、訪日外国人数が増える
- 食文化などの多様なくらしの文化が全国各地で生まれ、地域社会・経済が活性化している

文化芸術をアイデンティティとし、多様な価値観を受け入れる、心豊かな社会の形成

Diversity and Well-being

- 高齢者、障害者、在留外国人等、あらゆる人々が、あらゆる場所で文化芸術の場に参画する機会がある
- 文化施設、国内外の文化イベントにおいて多言語化対応が進み、多くの訪日外国人が参画し、日本文化に触れている
- 在留外国人の日本語学習が進み、日本の文化を海外に次々と発信している
- あらゆる文化施設で女性が活躍し多様な文化プログラムが展開されている

文化芸術を通じた地域コミュニティの形成

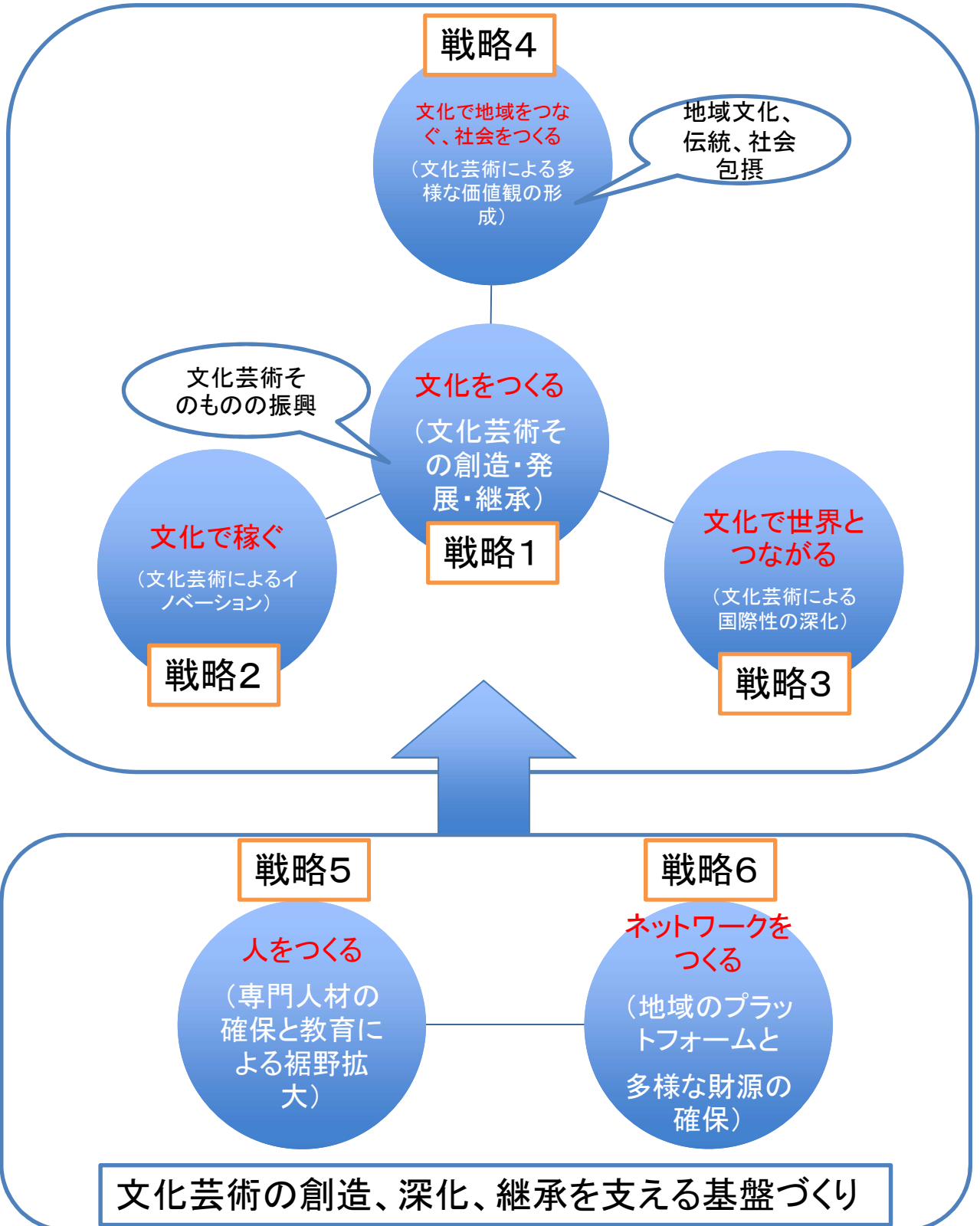
Cultural Community

- 地域の文化財の価値を人々が再認識し、総合的かつ一体的に保存・活用する取組を行っている
- 地域の芸術祭にあらゆる人々が参加するなど、多くの人が地域の文化的環境に満足している
- 海外から多数の外国人が訪日し、地域の文化施設を訪問したり、地域の文化イベントに参加している
- 2020年五輪を契機に全国各地で多彩な文化プログラムが展開され、オリンピックムーブメントの普及が進んでいる

今後5年間の文化政策の基本的な方向性 相互の関係性

たたき台素案

文化芸術資源で未来をつくり、「文化芸術立国」を実現



今後5年間の文化政策の基本的な方向性 横断的施策と基本的な施策との関係性

たたき台素案

文化芸術資源で未来をつくり、「文化芸術立国」を実現

戦略1 戦略2 戦略3 戦略4 戦略5 戦略6

文化をつくる

文化で稼ぐ

文化で世界とつながる

文化で地域をつなぐ、社会をつくる

人をつくる

ネットワークをつくる

横断的施策①
関連分野との連携協働

横断的施策②
2020レガシーの創出

基本的施策群

【戦略1】文化をつくる(文化芸術の創造と発展と継承)

たたき台素案

世界水準の文化芸術の創造と発展を図るとともに、文化芸術を生み出す創造的な人材を含め、我が国の優れた文化芸術を次世代へ確実に継承する

(主な基本的な施策の例)

- ・芸術の振興(芸術祭→2と4)
- ・メディア芸術の振興(横:関連分野との連携協働)
- ・芸能の振興、伝統芸能の継承・発展
- ・物品の保存、知識及び技能の継承(横:関連分野との連携協働)
- ・新進芸術家等の養成(横:2020レガシーの創出)
- ・文化財の保存と活用
- ・著作権等の保護及び利用
- ・国語の正しい理解(学校教育、社会教育等→5)
- ・劇場、音楽堂等の活性化(横:2020レガシーの創出)
- ・美術館、博物館、図書館等の充実(専門職員養成→3、多言語化対応→5)(横:2020レガシーの創出)
- ・顕彰

※(横:)は横断的施策と関連が深い主な基本的施策であり、これに限るものではない。

(進捗状況を測るための指標候補)

- ・国際コンテスト等での入賞、海外での芸術祭への参加状況(※第3次教育振興基本計画での指標候補)
- ・国民の誇りとして「文化・芸術」が挙げられている割合(第4次基本方針での成果指標)

【戦略2】文化で稼ぐ(文化芸術によるイノベーション)

たたき台素案

我が国の多彩な文化芸術を活用して、科学技術と融合した複合領域や若者文化の萌芽を支援し、革新的な文化芸術を切り開くなど、文化芸術によるイノベーションを起こす

(主な基本的な施策の例)

- ・全国レベルの芸術祭の開催
- ・情報通信技術の活用の推進(横:関係分野との連携協働、2020レガシーの創出)
- ・若者文化の萌芽支援(横:2020レガシーの創出)
- ・著作権等の保護及び利用

※(横:)は横断的施策と関連が深い主な基本的施策であり、これに限るものではない。

(進捗状況を測るための指標候補)

- ・訪日外国人人数(第4次基本方針での成果指標)

【戦略3】文化で世界とつながる(文化芸術による国際性の深化)

たたき台素案

2020年五輪を契機に、国内外で多彩な文化プログラムが展開され、国際交流が深化され、日本の文化を戦略的かつ積極的に発信する

(主な基本的な施策の例)

※(横:)は横断的施策と関連が深い
主な基本的施策であり、これに限るものではない。

- ・国際文化交流・協力の推進(横:関係分野との連携協働)
- ・文化財国際協力の充実
- ・日本語教育の普及及び充実
- ・多言語化(横:関係分野との連携協働、2020レガシーの創出)
- ・近現代の文化遺産や美術への対応
- ・日本文化発信の戦略的推進(横:関係分野との連携協働、2020レガシーの創出)
- ・著作権等の保護及び利用

(進捗状況を測るための指標候補)

- ・国際コンテスト等での入賞状況(再掲)
- ・在留外国人の日本語学習者の割合(第4次基本方針での成果指標)

【戦略4】文化で地域をつなぐ、社会をつくる(文化芸術による多様な価値観の形成)

たたき台素案

文化芸術の成果を、あらゆる人々が生涯を通じて、あらゆる地域で容易に享受できる環境を整えるとともに、地域の文化芸術資源を掘り起こし、積極的に活用する

※(横)は横断的施策と関連が深い主な基本的施策であり、これに限るものではない。

(主な基本的な施策の例)

- ・衣食住の文化を含む生活文化、国民娯楽、出版物の普及等のくらしの文化(横: 関連分野との連携協働)
- ・高齢者の文化芸術活動の支援(横: 関連分野との連携協働)
- ・障害者の文化芸術活動の支援(横: 関連分野との連携協働、横: 2020レガシーの創出)
- ・在留外国人等の文化芸術活動や日本語教育の支援
- ・地域の芸術祭(横: 関係分野との連携協働)
- ・文化財の活用・公開、日本遺産、歴史文化基本構想等(横: 関係分野との連携協働)
- ・地域における文化芸術振興、沖縄文化、アイヌ文化
- ・地域の文化芸術活動の場の充実(横: 2020レガシーの創出)
- ・公共の建物等の建築等に当たっての配慮(横: 関係分野との連携協働)
- ・文化プログラムの展開(横: 関係分野との連携協働、2020レガシーの創出)
- ・著作権等の保護及び利用

(進捗状況を測るための指標候補)

- ・高齢者の文化芸術活動の参加率(第4次基本方針での成果指標)
- ・在留外国人の日本語学習者割合(再掲)
- ・地域の文化的環境に対して満足する国民の割合(第4次基本方針での成果指標)

【戦略5】人をつくる(専門人材の確保と教育による裾野拡大)

たたき台素案

文化芸術を支える専門的人材の確保を支援するとともに、文化芸術に関する教育を充実し、文化芸術活動の裾野を拡大する

(主な基本的な施策の例)

※(横:)は横断的施策と関連が深い
主な基本的施策であり、これに限るものではない。

- ・文化財の保存修復等に関する人材の養成、美術館・博物館等の専門人材の養成・研修
- ・NPOやボランティアを含む地域の文化芸術活動の担い手の育成
(横:2020レガシーの創出)
- ・マネジメント人材、技術者等の多様な人材の確保
- ・芸術家等のキャリア形成支援、地位向上(横:関係分野との連携協働)
- ・学校教育、社会教育における国語教育
- ・学校教育、社会教育における著作権教育
- ・国民の鑑賞等の機会の充実
- ・学校教育、社会教育における文化芸術教育の充実
- ・文化芸術団体のマネジメントの強化(横:2020レガシーの創出)

(進捗状況を測るための指標候補)

- ・文化施設における専門的人材の配置状況
- ・国民の鑑賞、鑑賞以外の文化芸術活動へのそれぞれの参加率
(第4次基本方針での成果指標)

【戦略6】ネットワークをつくる(地域のプラットフォームと多様な財源の確保)

たたき台素案

地域のプラットフォームをつくとともに、多様な財源を確保するため、文化芸術政策に関するエビデンスの蓄積を図る

※(横:)は横断的施策と関連が深い主な基本的施策であり、これに限るものではない。

(主な基本的な施策の例)

- ・地域のプラットフォームづくり(横:2020レガシーの創出)
- ・地方公共団体及び文化芸術団体への多様な財源の先進的な情報の提供と共有(横:2020レガシーの創出)
- ・民間の支援活動の活性化、多様な財源の先進的な事例の提供(横:2020レガシーの創出)
- ・民間事業者を含む関係機関相互の連携強化(横:関係分野との連携協働、横:2020レガシーの創出)
- ・文化プログラムに対する評価検証(横:2020レガシーの創出)
- ・政策形成への民意の反映、エビデンスの充実
- ・民間をはじめ多様な財源の確保(横:2020レガシーの創出)

(進捗状況を測るための指標候補)

- ・国民の文化活動への寄付活動を行う割合(第4次基本方針での成果指標)